

丹 沢 山 塊 山 行 記 録

y.h.c 笠原正雄.



目的地	塔ノ岳・丹沢山・蛭ガ岳(1673m)・松洞丸	期日	平成12年1月2～3日(前夜厚木入り)
山行人	笠原正雄・中野 茂・笠原澄子	天候	(2日)曇 (3日)曇のち晴 [両日ともやや風あり]

< 1 日 >

与板 pm6:30 発 関越高速～環状8号線～東名高速～厚木(元旦の夜で道路は渋滞なし)
 アパート 10:50 着 邦雄のアパート、3年ぶりで場所が心配だったが、思い出せて無事到着
 中野氏の「菊水」をおいしく飲んで、シュラフ就寝(12時)

< 2 日 >

アパート am7:00 発 6時前起床、朝食の後出発、曇空、予想していたより暖かい。
 厚木IC～大井松田IC～R246～玄倉
 玄倉林道ゲート 9:10 発 ガイドブックでは、夏季シーズンを除けばユーシン迄車が入ると記載されているが、
 ほぼ中間あたりで頑丈なゲート。手前に駐車場、先客1台のみ。林道を徒歩の単独者
 に聞けば、ユーシン迄小1時間という。計画通りのコースを歩き始める。途中林道の
 たまり水が凍っていた。
 青崩洞門 9:43 左にカーブしていて途中から真っ暗、中野のヘッドランプで足元を照らす。
 玄倉ダム 9:52 水は少ないが、緑色に澄んでいる。
 ユーシン分岐 10:40～10:50 熊木沢ダムゲート、更に林道が続くが次第に荒れてくる。(熊木沢ダム 11:00)
 尊仏の土平 11:40～12:10 先の単独者に追いつく。石がゴロゴロした鍋割沢を反対側に渡るが、真中に島があり、
 昼食。右岸に塔ノ岳迄2.7kmの指導標あり。ここから杉林の登り。
 12:42～1:00 (休み)曇で展望なし、塔ノ岳迄この後下山者1名と逢ったのみで、全く静かだ。
 不動の清水 1:35～1:40 寂しいほどチョロチョロ。ガスと冷気のため雨具を着る。
 塔ノ岳山頂 1:55～2:05 ガス。広い山頂。十数人がいた。山頂をはさんで右左に小屋が1ツずつあり。
 竜ガ馬場 2:45 塔ノ岳から緩やかな下りと登り。登山道に1頭の鹿に出会う。慣れていてか逃げない。
 立木に霧氷、また、それが風で落ちて道に白く積もっている。立木のない所は土の道。
 丹沢山頂 3:05～3:20 みやま山荘は小さい。のぞいたら7～8人が居た程度。小屋に電話なし。
 不動の峰 3:55～4:00 あずま屋有り。腹がへってきたので行動食。
 鬼ガ岩 4:25 今日のコースで唯一の岩場の急降下。山荘手前で鹿10頭程が走る。
 蛭ガ岳山荘 4:50 着 暗くなる前に着けて一安心。梯子をあがって寝床へ。1階広間脇の自炊室で先ずは一
 杯6時から夕食、6000円にしては、おでんほかお神酒つきの豪華正月特別メニュー。
 良く喋る小屋人が一人いた。梯子下の1階に8畳程の布団もある部屋が空いていた。ダ
 メモトで頼んだら渋々ながらもOK。移動し3人で楽々寝させてもらった。8時消灯。

< 3 日 >

蛭ガ岳山荘	am7:00 発	5:50 起床。ガスで展望無し。写真撮影後スタート。やや風あり。霧氷が更に多い。一気に下り。標高が下がると霧氷が無くなる。振り帰ると蛭ガ岳の頂が白い。
白ガ岳肩	8:00~8:05	登り返して広場。また霧氷となる。桧洞丸迄 2.9 km
神ノ川乗越	8:25	蛭ガ岳から標高差 329m の最低鞍部。青ガ岳山荘泊の年配単独者とすれ違う。ここから登り返しが始まる。立木の霧氷が融けて水が落ちる。
金山谷乗越	8:52~9:00	この後やや急登。時折薄日が差す。沢筋の上にて風が吹く。標高が上がると霧氷道。
青ガ岳山荘	9:50~10:03	山荘の休憩代 500 円。これはもったい無い。外で休憩。小屋の気温計 4℃
桧洞丸山頂	10:05~10:15	広場の山頂。再び霧氷の世界。広場の南西端から雲の切れ間に待望の富士山が見え隠れ。男性若者 2 人。犬越路を右に見送り箒沢方面の木道を下る。パイケイソウ群生地 of 看板。下り始めるとすぐに霧氷無くなる。右手に富士山が良く見える。
ツヅコース分岐	10:40	分岐点を 90 度左折してユーシン方面へ。
鎖・はしご	11:00	短いはしご、通過して 5 分 (休み)
同角の頭	1:35~1:40	小高い丘を登り返して頭。ユーシン迄 1:25 の標識有り。時折晴れ間となるが風はおさまらない。ラジオが神奈川県強風注意報を報じていた。
鎖・はしご	11:55	ここも短い。通過して 5 分 (休み)。晴れ間となり、雨具を脱ぐ。地図ではやせ尾根・キレットとあるが、よく分からなかった。ただコース中に崩壊地点が数カ所あった。
大石山	12:40~12:50	手前に本格的な鎖 3 本の直登。大石山頂では快晴となり、塔ノ岳・丹沢山・蛭ガ岳の主稜がみごとに見渡せた。桧洞丸は尾根の陰で見えない。
ユーシンロッジ	1:35 着	大石山から急降下。土ホコリがたつほど道は乾いていた。単調な下りで少々ウンザリする。ロッジにビールを買いに行ったが、管理人のみ。静かそのもの。
〃	2:20 発	橋を渡り林道に出て、緩やかな下りの帰路をたどる。昨日の氷が無くなっていた。
閉鎖ゲート P	3:45 着	山行終了。4 台が駐車していた。
(帰り道)	4:00	駐車場を発車。R246 から大井松田 I C へ。ところが事故があったせいか東名渋滞。秦野 I C で降りて再び R246 で厚木を目指す。夕暮れの富士山を見る。やはり R246 も大渋滞。
		R129 に出たらようやくスムーズになった。途中 7 時前、ラーメン屋に寄る。中野と運転を交代してもらおう。R16 から青梅 I C へ。
青梅 I C	8:10	圏央道～関越道。谷川 S A でトイレ。ここまで雨も無く走りやすかった。塩沢付近で雨。小出あたりで雨止む。
与板着	11:00	

ユーシン迄車が入るとの計画、コースタイムを組んでいたもので、往きで 1 時間 30 分、帰りで 1 時間 10 分余計に歩くこととなったため、全くゆとりの無い山行となってしまった。

各山頂を除けば、1 日目は塔ノ岳までで 2 人、稜線で 2~3 人と出合ったのみ。2 日目は稜線で 1 人、桧洞丸以降の登山道で 2 夫婦と逢っただけである。季節のせいと、ユーシン迄の林道歩きが嫌われてか人気の少ない山行であった。予想していたより入山者が少なく、山荘宿泊者も 36 人であった。

好天候とはいかなかったが、雨雪を考えれば良しとすることにしよう。また霧氷は初めての経験であった。

1 日目はもしかすると、ヘッドランプでの歩行となるかと覚悟したが、暗くなる 10 分前に小屋に到着して胸を撫で下ろした。2 日目のコースは登り下りが数回に渡り、標高の割に歩きでのあるコースだった。なにはともあれ、富士山を望めて行った甲斐があった。

また、中野氏に同行してもらって、非常に心強かった。妻と 2 人きりだったら、計画コースを完歩出来たかどうか、心もとない。感謝します。

(注) この山は水場があてにならない。